

## スペシャル中東時事アップデート 2019年5月4日

アミール・ツアルファティ

- 緊迫するガザ情勢 イラン・シリア関連 -

<https://youtu.be/LDBJWx8RbnM>

みなさん、シャローム。アミール・ツアルファティです。ガリラヤにある自宅のリビングルームより、ライブを行っています。現在起こっていることに関して、短くアップデートをお伝えします。

イスラエルとパレスチナの間のガザの国境で、今朝の10時から…9時間前です。250発近くのロケットが、イスラム聖戦派によって… — 私たちはハマスもだと信じています — ガザ地区から、はるかあの地域のイスラエルの町や村に向けて発射されました。もちろん、今回はロケットの射程距離が40km近くあり、アシュドッドやアシュケロンのような場所だけではなく、キルト・ガト、遠くはベト・シメシュまでです。空襲警報まで聞こえました。アイアンドームが、これらのロケットのうち、半分以上を空中で迎撃しました。事実、ロケットのほとんどが空き地に落下したか、もしくはアイアンドームが空中で破壊しました。しかしながら、この数分の間に、2〜3発が、いくつかの建物に直撃したことが報告されています。今の時点では2人の負傷者が出て、アシュケロンの病院で手当を受けています。男性と女性1人ずつで、2人とも命に別条はありません。手厚い治療を受けています。

よく考えてみてください。人口の密集した地域に、250発のロケットが発射されたのです。人口の密集している地域です。それが負傷者はたったの2人、ロケットの95%は居住地域に命中すらしませんでした。これはすごい事ですよ。これは驚くべき神の守りです。ところで、多分、今日の配信の間に、みなさんも耳にされるかも知れません。私の家から約3マイル (4.8km) 離れたところにイスラエルの空軍基地があって、F-16(戦闘機)の離陸する音が、午後1時ごろからこの6時間ほどの間、絶え間無く聞こえています。きっと、まだ任務が続くでしょう。

彼らがやり遂げた任務の一つは、国境を越えていたイスラム聖戦派のテロ・トンネルの破壊です。実際にそれはイスラエルの領土に侵入していて、私たちは、彼らがそれを行うのを見ながら、破壊する時期をうかがっていたのです。そして現在、対立があって、どちらにしても私たちは彼らを攻撃していますから、破壊するのに、ちょうど良かったのです。このために、イスラエルはこのような状況下でも、本当のパニックにはならないのです。なぜなら、彼らがロケットを発射し始めるといつでも、何であれ、年間を通して、彼らが行っているテロ活動に対して必要な仕返しができるのです。それで、私たちにとってはちょうど良いのです。イスラム聖戦派とハマスは、一つの事を理解しています。来週、イスラエルは建国71周年を祝います。来週、私たちは70周年記念以来、1年目を祝います。去年の独立記念日のほんの2ヶ月前、彼らはフェンスに集合して暴れまわり、止まる事のないロケット発射やあらゆる事を行いました。彼らが始めた頃、一年前を振り返ってみると、何も変わっていません。今日の彼らの状況は、彼らが始めた頃よりもさらに悪化しています。もし、世界が彼らに注目すると考えて、あの暴力行為から何かを得られると一度でも彼らが考えたとしたなら、またしても自分たちが間違いであった事を証明しました。イスラエルの初代外務大臣のアバ・エバンが言った通り、「パレスチナ人達は、機会を逃す機会を絶対に逃さない」機会があるごとに、彼らは毎回、機会を逃します。

みなさん、一つ理解しておいてください。私、個人的には・・・みなさんが、同意する必要はありませんが、「パレスチナ」という国家が、かつて存在していたとは、私は信じません。私は、彼らに何か歴史があったとは信じません。彼らは、イスラエルの地にやって来たアラブ人だと私は信じています。当時、この地が「パレスチナ」と呼ばれていたため、彼らは、自分たちを「パレスチナ人」と呼んだのです。彼らはみんな、自分達がどこから来たのかははっきりと知っています。私たちが世界に向けて「ユダヤ国家」と言う時、80以上

の異なる国々から戻って来ましたが、それでも私たちは、ユダヤ人です。そして私たちは、これをユダヤ人国家と呼びました。私たちはみんな、ユダヤ人です。彼らはみんな、“パレスチナ人”ではありません。彼らは100年ほど前に、ただ、ここに移って来たからです。そして彼らのほとんどは、ユダヤ人がここに移って来たから、ここへやって来たのです。ここには、彼らの出身地よりも、仕事や、より良い生活を送るチャンスがあるのを見たから。「パレスチナ国家」は存在していません。彼らは、それを言い続けていて、カナン人やベリシテ人に、さかのぼり続けていますが、それが上手く行っていない事を、彼らは知っています。そして、彼らが「国家」ではないために、彼ら自身が「国家」に関して同意していないのです。イスラム聖戦派とハマスは、パレスチナ解放機構のパレスチナ当局とは同意していません。一方は西岸地区を支配し、もう一方はガザ地区を支配していて、彼らは、彼らが本当に求めている事ですら、互いに同意する事が出来ていません。世界がイスラエルに「2国解決策」を押し付けようとしている時、パレスチナ人たち自身が、その内容に同意していないのです。

ですから、トランプの「和平案」が明かされる日が近づく中で、一つ、お伝えしたいと思います。「2国解決策」は、ここでの平和を達成するための“唯一”の選択肢にはなりません。この、“イスラエルの滅亡”を再度試みることの真の目的を隠すカモフラージュは、トランプ大統領が選ばれ、就任して以来、すっかり失くなっています。ですから、ジャレッド・クシュナーや、ジェイソン・グリーンブラット、その他が明らかにしようとしているものを見るのは、とても興味深いです。一つ確かなのは、これは“包括的な和平案”になるということ。ヨルダン、エジプト、サウジアラビア、湾岸諸国、その他、周辺の全てを巻き込みます。それによって、現在交渉の席上にある問題をなくし、イスラエルが前進できるようにします。だれかがパレスチナに告げなければなりません。聖書的にも、パレスチナ国家など存在しないのです。念のために言っておきますが、それは聖書の中にもありません。それが、どのようになるのかも分かりませんが、土地がどのように分断されたのかは、私も見えています。そこは、異なる帝国の間で分けられました。ただ、もう一つ、私が目にしているのは、神が、その民を故国に連れ戻し始めて以来、分断しようとする動きは、あまり上手く行っていません。なぜなら、神は、これら全てよりも、はるかに大きな形で動いておられるからです。

次に、一つみなさんにお伝えしておきたいのは、現在起こっている“暴力のサイクル”のタイミングは、偶然ではありません。来週、イスラエルは2つの事を祝います。「メモリアルデー（記念日）」私たちにとって、これが意味する事をみなさんが理解されているかは分かりませんが、6百万人のユダヤ人を失った“ホロコーストの記念日”は、イスラエルが創設される前です。そして戦没兵士のメモリアルデーは、私たちが国家として創設されて以来、毎年行なっている事です。この2つは、イスラエル人にとって最も神聖なる日なのです。なぜなら、私たちはこの大きな軍隊ですから。私たちのだれもが、自身が兵士であるか、または自身の子供や孫を軍隊に送っているかのどちらかです。そして私たちは 子供達を軍隊に送る事だけでなく、彼らを連れ戻す事、生死に関わらず、彼らをイスラエルに連れ戻すことに、はるかに大きな価値、はるかに大きな重要性を置いているのです。

ところで、このために私は、ある映像をシェアしました。ホロコースト記念のサイレンが鳴ると、イスラエル人たちが、交通の流れを止めて車から降り、黙想している動画です。来週も同じ事が行われます。残念ながら、そのとき私はアメリカとカナダに行っていて、ここにはいませんが、心の中では、私はここにいます。もちろん、私の子供たちの2人が軍隊にいますから。私自身も、軍の少佐です。それと、1967年には私の叔父が従軍中に命を落としています。ですから、私たちは戦没兵士たちの家族であり、私たちは、彼らを大いに尊敬しています。実は、このためにイスラム聖戦派とハマスは、この暴力のサイクルを始めているのです。なぜなら、メモリアルデーと独立記念日で、イスラエルが最も大きなイベントを開催する事を彼らは知っているからです。「ユーロビジョン・ソング・コンテスト」という音楽コンテストが、10日後に開催されます。だから彼らは、私たちに恥をかかそうとしているのです。みなさんに言っておきますが、私たちは、彼らにそれはさせません。

それから、もう一つ、イスラエル軍にとって、兵士たちがどれほど重要かをお伝えします。27年以上前、イスラエルはレバノンでの戦争で3人の兵士を失いました。彼らの遺体は、後にシリア軍に持って行かれ、それからレバノンの一部に支配され、シリアのどこかに葬られました。それが、少なくとも彼らの内の1人が

葬られた場所を、イスラエルの諜報部がつきとめ、ダマスカス近くのパレスチナ難民収容所にあるその墓地に行き、取り戻そうと何度も試みましたが、何度かの試みは、失敗に終わりました。それが、去年の年末に差し掛かった頃、イスラエル諜報部が、ロシアに対する大規模なテロ攻撃を阻止したのです。今は、私には、はっきりと「何を、何時、どこで、誰が」は言いませんが、唯一、私に言える事は、非常に大規模であったという事。多分、ロシアの9-11でしょう。それが起ころうとしていたのです。なぜなら、みんながロシアを憎んでいますから。ロシアがISISと戦っているフリをしているために、あちらのスニ派は、彼らを憎んでいます。ロシアはシーア派を止めるフリをし、ロシアはアサドの事を気にも留めていないフリをしています。そのため、シリア内の全ての分派はロシアを憎む事を喜び、ロシアで大規模な事が行われるところでした。それをイスラエルが傍受し、阻止しました。それに対して、ロシアの大統領はものすごく感謝し、最後にネタニヤフをモスクワに招いた時に、彼は、基本的にこのように彼に聞いたのです。「どのように手助けをしましょうか?」「あなた方が私たちのためにしてくださった事へのお返しに、私たちはあなたのために、何が出来ますか?」そこで、イスラエルの首相は言いました。「あなたにとっては、どうでも良い事に聞こえるのかも知れませんが、私たちの兵士の1人の骨が埋葬されている場所を、私たちは知っています。現在、あなた方はダマスカスの大部分で主権の一部を握っておられますから、あなたがたの軍隊が出て行って取り戻せるなら、詳細な方法、正確な場所をお伝えします。もし、あなた方が行って、私たちの兵士の骨を取り戻していただければ、とても感謝します」するとプーチン大統領は、ネタニヤフを見て言いました。「今、27年前の出来事だと言いましたか?」彼は、「はい」と言い、すると、彼は言いました。「そんな事をして何になるんだ? どうして27年も前の出来事が、そんなに大事なんだ?」ネタニヤフは、彼に言いました。「これは私たちの国です。私たちは、我々の戦没兵士を敬います。たとえ20年、30年、40年後であっても、私たちの家族は、亡くなった人たちの遺骨のある墓で彼らの事を偲びたいのです」プーチン大統領は、深く感銘を受けて、ネタニヤフ首相に言いました。「ネタニヤフさん、これは私に任せてください」言い換えれば、「あなた方が、私たちのためにしてくださった事へのお返しは、まだ、何でも言ってください。しかしこれは、それとは別に私が責任を持って行いましょう。これは、私からあなたに、“無料”で差し上げたいのです」そしてその瞬間から、彼は兵士たちに指示をして、その墓を探し、遺骨を取り戻す事を始めました。そして彼らは、Zachary Baume氏と他の2人の兵士の遺骨を取り戻し、先月、遺骨は戻り、大きな式典の中、ここ、イスラエルに埋葬されました。

ところで、イスラエルは何も見返りを求められていません。これは、我々が彼らにした事に対して、ロシアがお返しにしてくれた事ですから。後になってイスラエルは考えました。シリア軍は、ロシアの行動を止めませんでしたから、我々の刑務所にいるシリア人の囚人を何人か解放しても良いかも知れない、と。これが話の内容です。ともかく、私が言いたいのは、戦没兵士の遺骨が、イスラエル人にとってどれほど大切かが、この事から分かるでしょう。イスラエルの首相が、それに対応する程なのです。また私は、ベトナム戦争や朝鮮戦争、その他の場所での戦没兵士の遺骨を持って帰ろうとしているトランプ大統領の事も、賞賛します。

それから、もう一つお知らせしたいのは、ガザの状況は、これ以上エスカレートしないかも知れません。彼らは、「テルアビブを撃つ」とか「ベングリオン空港を撃つ」とか「ディモナ核原子炉を撃つ」とか言っていますが、みなさん、私たちは相手を分かっています。彼らはいつも、口ばかりです。彼らはいつも、大口を叩いて、大きな事を言うのが大好きです。しかし我々は、彼らがどういう者たちで、彼らの能力を正確に知っています。そして我々は、エジプトの仲介人を通して、彼らは多くを失うという事を、明確に伝えたと思います。現在、ガザに関する報道のいくつかによれば、停戦の話が、かなり進んでいるようです。いつでも、この手の話が始めると、再び停戦が始まるまで、数時間の問題です。ただ、少なくともこの間に、2人の負傷者が出ましたが、いくつかの重要な標的を破壊しました。私たちは破壊する必要があって、攻撃のための理由が必要でした。そして今、彼らがそれをくれたのです。

みなさん、シリア国内のイランについてと、あちらで起こっている他の事について続けてお話しをする前に、お伝えしたい事があります。“アンカード・ノース”制作の私の証のビデオが公開されました。私の証の5分間の動画で、フェイスブックとウェブサイトでご覧頂けます。とても短くてパワフルな証なので、出来る限

り多くの人にシェアして頂ければと思います。ユダヤ人が、どのようにしてキリストをユダヤ人のメシアだと気付いたのかを、出来る限り多くのユダヤ人たちが知り、そして彼らもまた、救われるように祈っています。

ところで、みなさんご存知の通り、来週、私は連邦議会議員幹部の朝食会があって、保守派の幹部議員が20～30人ほど来る特別朝食会でメッセージをします。とても興味深い事ですが、この全てで、みなさんのお祈りが必要です。

次にみなさんにお伝えしたいのは、数日前、ISISの指導者アブー・バクル・アル＝バグダーディーが、ライブ配信で登場しました。18分の動画です。ほぼ5年ぶりで、前回、彼が動画で姿を見せたのはイラクのモスクからでした。それが2014年6月で、あれ以来、彼は公に姿を見せていませんでした。これは最近のもので、なぜなら、彼は2つの事に言及しています。その一つは、スリランカのテロ攻撃についてです。彼は、何と言ったと思いますか？彼は、基本的に次のように言いました。「テロが、Al-Baghuzの報復として、イースターの祝日に、十字軍戦士たちの家や教会を揺さぶった時、ムスリム信者たちの心に喜びをもたらした」名前や日付に馴染みのない方のためにお伝えしますと、Al-Baghuzとは、ISISがシリアに所有していた最後の拠点です。ここはトランプ大統領がISISを驚かせるために備えていた場所で、現在、町は完全に瓦礫と化しています。そしてISISは完全に滅ぼされ、独立したカリフとして彼らが所有していた土地は、完全に失っています。その瞬間から、ISISは再結成して・・・「ISISは消滅した」と言えたらどんなに良いかと思いますが、ISISは消滅していません。アルカイダが消滅していないのと同様です。アルカイダとISISの違いは、常にISISは、連続した領土の取得によって、すでに現在、カリフ制国家の創設をしていると信じており、それに対してアルカイダは、一カ国ずつ取って行って、最終的に彼らを服従させ、それからカリフを創設しよう。これがアルカイダとISISの大きな違いです。そして今は、ISISの方がアルカイダよりも新しく、破壊的なようです。アルカイダの新しいバージョンというか。現在、ISISの全てのテロ要員が国々に戻っていて、活発なテログループを、異なる複数の国々に持っています。アル＝バグダーディーが言ったのは、彼らは世界を属州ごとに分け、それぞれの属州ごとにそれぞれの指導者を持ち、それぞれの属州ごとにそれぞれのグループを持つ。そして今、アル＝バグダーディーは言っています。「現在、我々はフランス属州を攻撃する用意が出来ている」それから彼はまた、トルコ属州についても言及しているのです。エルドアン大統領は非常に心配していると、私は思います。フランスがISISの手を感じるだけでなく、アル＝バグダーディーの脅しによれば、トルコもです。

「こういった人たちは、どうやってコミュニケーションをとっているのか？」と聞かれるなら、「彼らは、どうやって互いに連絡を取っているのか？」もちろん彼らのユーチューブチャンネルはブロックされていますし、フェイスブックもブロックされています。インスタグラムもブロックされています。彼らは、今、“テレグラム”を使っています。“テレグラム”は、新しいチャットアプリの一つで、それを使って、基本的に、彼らは現在、宗教戦争を宣言しています。

さて、一つ、みなさんに説明します。多くの方がご存じないでしょうから。西側社会は、宗教戦争が存在する事を認めないようにしています。ヨーロッパでは、人はそれについて語りません。アメリカの前政権は、それについて語りません。「イスラムテロ」という言葉は禁句です。オーストラリアとニュージーランドの一部でさえ、言うておきますが、私は、メルボルン警察の上級司令官のゲストだったのですが、彼が私に言ったのです。オーストラリアのメルボルンでは、「イスラムテロ」という言葉を使う事が禁じられている。クライストチャーチでの大量殺人の後の、ニュージーランドの首相の発言はお伝えするまでもありません。そして突如としてイスラムが平和の宗教となり、突然、金曜日のラジオとテレビの生放送で祈りが呼びかけられました。ところが、スリランカの攻撃になると、みんな「クリスチャン」という言葉を使う事さえ避けるようになり、彼らはただ、「イースターを祝う人たち」と言いました。とても興味深い事に、ほとんど2つの惑星、2つの現実が存在していて、ISISは宗教戦争を起こそうとしています。そして、西側社会は「宗教戦争なんか無い」と言っています。ですから、この2つの事について、だれかこの西側社会、特にヨーロッパを目覚めさせなければなりません。そして告げなければなりません。「宗教戦争は存在していて、彼らは激しい攻撃を受ける」事実、ISISは異なる2つの事で戦おうとしています。彼は、西のキリスト教と戦いた

いのです。もちろん、彼は「キリスト教」とは言いません。彼は「十字軍」と呼びます。なぜか？ それは、彼が歴史を学んでみると、十字軍が聖地へ行き来している途中のムスリムを何千人と大量虐殺したことを知ったからです。そのため、ムスリムの心の中に「反クリスチャン」の感情を起こしたいなら、ただ、「クリスチャン」を「十字軍」と呼べばそれで良いのです。しかし同時にISISはシーア派とも戦っていて、面白いのは、オバマ大統領は、よく言っていました。「我々は、イランを助けている。なぜなら、ISISはイランの敵でもあって、従って、我々には共通の敵がいる」みなさん、これはデタラメですよ。イランが求めているのは、テヘランから地中海までの橋となる配列を創りたいだけです。そして彼らは「ISISと戦う」という名の下に、さらに多くの民兵や人を送り込んでいます。みなさん、言っておきますが、4月はイラン人にとっても、彼らの民兵にとっても、アサド政権にとっても、さらには、砂漠デリゾールにいるいくつかのロシア軍にとっても、最も血なまぐさい月でした。そこでISISが再結成したのです。多くの人が、ISISの事を、「フェニックス」のようだと言っています。砂の中から起き上がり、攻撃して、姿を消します。とても興味深いのは、現在、ISISは完全に抹消して行っているのです。何十人・・・と言おうと思いましたが、毎週、ほぼ百人以上の数の、シリア西部から、シリア東部へと、キャラバンに乗って移動中の人々を、毎週連れ去っています。5~7台のキャラバンが、完全に姿を消しているのです。そして、シリアかイランの民兵が、後ろ手に手錠をかけられ、頭を撃たれて死んでいるのが発見されています。ISISは引き続き、彼らを絶えず大量虐殺しています。

さて、イランにとっても悪い月でしたが、5月は彼らにとって、さらに悪い月になります。もし、イランの石油産業に対するトランプ大統領の制裁により、その生産量を下げたとすれば、オバマの時代の1日250万バレルから現在は約110万、50%以上の低下です。新しい制裁は、さらに減少させ、1日に50万バレルになると私たちは見積もっています。これは絶望的です。そのためにイランは、シリアへの融資を全て停止したのです。イランはかつて、アサド勢力に無料ではありませんが、石油を与えていました。そしてアサドは、彼らから物を買う事で、後から支払うはずでした。ところがアサドは破産していて、お金がありません。彼には信用もありません。そのために現在、シリアの国中のガソリンスタンドに、ガソリンを求める人々の長蛇の列があるのです。そしてイランは、アサドに告げています。「お前は、個人的に何十億ドルと持っているじゃないか。世界中の自分の銀行口座に隠してある。国民に石油を渡したいなら代金を払え。お前の個人的な金であっても、我々は構わない」ですから、アサドが追い込まれているのが、明らかに見えます。イランは現在、空っぽの戦車を走らせています。そこで、状況は非常にエスカレートしています。下落し崩壊しているトルコのリラでさえ、です。

その一方で、アメリカの経済を見てください。失業率は3.6%だったと思いますが、1969年以降、これほど低かった事はありません。株市場を見てください。めちゃくちゃ回復していますよ。トランプ大統領の最大の批判家たちでさえ、言葉が見つかりません。今や、もう、ロシアとの共謀もありません。すでに証明されました。今や、彼の行動が成果を上げているのです。トランプが自国で評価を得て、勢いを得ている時に、悪の枢軸は流血しています。なぜかという、これらの瀕死の国々は、石油生産にのみ頼っていますから。それと、ベネズエラでのエスカレートもそうです。ですから、どうしてロシアと中国が、金正恩に少し自由にする事を許しているのか、はっきりと見えるでしょう。それからまた、アメリカが、ある種の妬みを、彼らの中に起こしている事を、彼らは理解しているのです。みなさん、私たちは、かなり驚く事が起こるのを目にしています。

ところで、アル=バグダーディーは、演説の中で2つの事を言いました。彼は、こう言いました。「十字軍国家が、我々に対して取った蛮行は許されない」それから、「ムスリムは、驚くべきスピリットで戦った。十字軍の戦いにおけるイスラムの戦争は、終わりからは程遠い」ですから、ラマダンが間もなく始まりますが、通常、一年で最も血生臭い月を、私たちは目にする事になります。そこで私は言っておきます。「ヨーロッパ、用意をなささい。」「トルコ、用意をなささい。」前回のテロの波で、西側社会はISISの手を感じませんでした。それは単に、素晴らしい諜報機関のおかげで、これらの国に、なんともなんとも秘密情報を提供した、イスラエル諜報部に感謝します。ただ、ひとつ私に言えるのは、これは永遠には続きません。そ

して、これはヨーロッパがひざまづく、もう一つの理由です。贖い主が現れて、この状況の苦しみから彼らを救い出してくれるように懇願しています。

という事で、こちらでは物事がどのように動くか、ガザ地区で何が起きているのかということをおみなさんも理解されたでしょう。パレスチナ人のための解決策が私には見えるか？私には見えません。ただ私に見えるのは、イスラエルが、戦って絶滅出来るようなものではない事を、彼らが理解した瞬間、すなわち、彼らが武器を置いた瞬間に、平和があるでしょう。ある人が言っていましたが、「パレスチナが武器を置けば、もはや戦争はなくなり、イスラエルが武器を置けば、もはやイスラエルがなくなる」そういう事です。そして私たちは、相手を理解しなければなりません。平和を求めているのは、ごく少数で、ほとんどが、私たちの破滅を望んでいます。彼らは我々の隣で暮らすのではなく、我々の代わりに暮らしたいのです。私たちは、それをすでに明らかにしました。私たちは分かっていたのです。エルサレムを交渉の台から取り除き、”フェイク難民”をここに戻す事も、交渉から取り除き、2国解決策を、一旦、交渉の台から取り除くと、彼らは、どうして良いのか分からないのです。彼らは何も出来なくて、他に彼らには何が出来るのか分からないのです。これはとても残念な事です。

ところで、私が気づいたのは、アメリカの革新的な左翼の新しいレトリック、またそれは、イスラエルの革新的で狂氣的、狂ったリベラルにも入って来ていますが、それは、「ナチスがあなた方にした事を、パレスチナ人にしてはいけない」と言うこと。これはチープで、また、馬鹿げていますよ。ナチスが行なったのは、記録された、世界史上最悪の大虐殺です。彼らは、それを記録し認めました。イスラエルは、他でもなく、パレスチナを助けようとしているのです。彼らを滅ぼしているのは、彼ら自身です。ハマスはお金を受け取っていますが、彼らの一般市民にお金を与えていません。人々は、彼らに敵対してデモを行っていて、私たちにに対してではありません。ロケットを発射しているのは、いつもガザの人々ではなく、ハマスです。革新的なイスラエルのジャーナリストがこんな風に言っているのを聞きました。「ガザ地区は、“ガザ・ゲットー”だ」ただ歴史を知り、そこで起こった事を知れば、これを比べる事が、どれほど馬鹿げているかお分かりになるでしょう。この革新的、狂氣的な左派のリベラルが、どれほど馬鹿げているかということ。彼らは、イスラエルに敵対して訴えるためなら、どの国境を越える事も、いといません。しかし、それは成功しません。

唯一の、「唯一」成功する欺きは、残念ながら、戦争の後に、約7年間の、ものすごい偽の平和がやって来ますが、それも、3年半の後に破られます。しかしそれは成功します。私は、それが上手くいくと約束出来ます。聖書がそう告げていますから。彼は契約を拡大します。恐らく反キリストが差し出す協議は、イスラエルがエルサレムに留まって、独立するだけではなく、神殿を建てるようになります。ですから、とても興味深い事が起こるでしょう。しかし、ひとつ確かなことは、その欺きでさえ、長くは続きません。なぜならば、私がいつも教え、説教している通り、大患難はイスラエルの救いのためだからです。それで、敵が企んだ（もくろんだ）悪を、後に神が良い事のために用いられるのです。ホセア書5章15節にある通りに。

**彼らが自分の罪を認め、わたしの顔を慕い求めるまで、わたしはわたしの所に戻っていよう。  
彼らは苦しみながら、わたしを捜し求めよう。（ホセア書5章15節）**

また、エレミヤ30章が告げている通り、ヤコブの家に苦しみが臨む時、イスラエルは、主を探し求めます。そして彼らは、そこから救われます。大患難、「ヤコブの苦難」を約束している、同じエレミヤの章が、このように告げています。

**しかし彼はそれから救われる。（エレミヤ30章7節）**

なぜか？それは、彼らが主に立ち返るからです。ゼカリヤが言っています。キリストが私たちと共に、ここに戻って来られると、彼らは悔い改め、そして自分たちが突き刺した者、わたしを仰ぎ見ます。その時、彼らは悔い改め、ラッパの祭りが成就します。

わたしは、ダビデの家とエルサレムの住民の上に、恵みと哀願の霊を注ぐ。彼らは、自分たちが突き刺した者、わたしを仰ぎ見、ひとり子を失って嘆くように、その者のために嘆き、初子を失って激しく泣くように、その者のために激しく泣く。（ゼカリヤ12章10節）

悔い改めはヨム・キプール、贖罪、そしてもちろん千年王国は、仮庵の祭りの成就です。ですから、これら最後の3つの祭りは、その日、2千年前に起こった最初の4つと同じ並びで起こります。ですから、4つの祭りは2千年前に成就していて、それが69週。そして、最後の3つは70週の終わりに同じ並びで成就します。私は今、ダニエル書9章の話をしているのですが、現在は、主がダニエルに明かされた合計70週の、69週と70週間の谷にいます。アルタクセルクセス王が、ネヘミヤにエルサレムの城壁を立てることを承認した瞬間から、ずっと最後の、神がイスラエルに対処される時まで、と定められています。これはとても興味深いこととなります。

私は、次のカンファレンスをととても楽しみにしています。連邦議会幹部朝食会のすぐ後に、私はトロントに向かって、そこで『かの日が近づいている』をメッセージします。とてもチャレンジ的なメッセージです。「何の日が近づいているのか？」もちろん、これはヘブル人への手紙10章の御言葉です。

ある人々のように、いっしょに集まることをやめたりしないで、かえって励まし合い、かの日が近づいているのを見て、ますますそうしようではありませんか。（ヘブル10章25節）

なんの希望なのか、だれがその希望を与えるのか。それから、その約束とは何か、その約束とはだれなのか。とても楽しみです。その後、テネシー州のグレースチャペル、そこから、はるばるコロラド州のParker、デンバーの隣に行って、もうひとつカンファレンスです。ですから、もうとても楽しみです。いくつかは、新しいメッセージもあって、それも楽しみにしています。

どうか、ワシントンDCの朝食会とカンファレンス、その他の場所のためにお祈りください。ルーマニアの講演も素晴らしかったです。前回のアップデートの後、お祈りいただいて感謝します。土曜の夜と日曜の朝、晩、月曜の朝、晩は、最後のプッシュでディミショアラとアラドでしたが、感動しました。何千人という数の人たちが集まって、牧師先生たちは御言葉を、勧告のメッセージでさえ素直に受けとめてくださいました。そしてまた、お誘いいただいています。すぐに訪問できるかどうかは分かりませんが、私たちのミニストリーは、ルーマニアの販売元から、私の本のルーマニア翻訳版を購入します。そして、私が訪れたルーマニアの教会に、たくさんお送りします。みなさん、終末について、それから私たち全員にある素晴らしい約束について、しっかりと学んでいただけるでしょう。私は、主が先週にしてくださったことと、そして来週、なさろうとされていることに感謝しています。それから、ここ自宅で家族と過ごせた素晴らしい一週間にも。みなさんのお祈りに感謝します。私の娘は、いま軍にいますし、息子もそうです。この週末は、ここで素晴らしい時間を過ごしました。そして明日の夜はジャーニーに出発しますので、たくさんのお祈りが必要です。これで全部お伝えしたと思います。

ところで、パースとメルボルン、それからニュージーランドのオークランドでの「Awaiting His Return カンファレンス」は、すべて登録の受け付けを開始しています。メルボルンは、すでに千人以上の登録がありました。パースは少しゆっくりですが、近くなれば埋まると思います。オークランドは新しく登録を受け付けていますので、ぜひご登録ください。Pastor Berry Stagner と私とで、オーストラリアとニュージーランドに行きます。そこで、希望のメッセージをお分かちします。そして、現在起こっていることや敵の策略について、主の来臨の前に、主の教会である私たちがキリストにあって持っている希望について、みなさんにお教えいたします。

みなさん、ありがとうございます。さいごにアロンの祝福で終わりたいと思います。（最初はヘブル語で、次に英語で同じお祈りを繰り返して祈っています）

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。  
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。  
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。(民数記6章24節-26節)

最後にひとつ、御言葉をお分かちしたいと思います。みなさん、どうかこれを覚えていてください。黙示録の5章の御言葉で、ヨハネが天国にいる時の、もっとも悲しい場面の1つです。聖書はこう告げています。6節。

さらに私は、御座——そこには、四つの生き物がいる——と、長老たちとの間に、ほふられたと見える小羊が立っているのを見た。これに七つの角と七つの目があった。その目は、全世界に遣わされた神の七つの御霊である。小羊は近づいて、御座にすわる方の右の手から、巻き物を受け取った。(黙示録5章6節-7節)

これらすべては…。ところで、4節でヨハネは巻物を見ました。そして、言っています。

また私は、ひとりの強い御使いが、大声でふれ広めて、「巻き物を開いて、封印を解くのにふさわしい者はだれか」と言っているのを見た。しかし、天にも、地にも、地の下にも、だれひとりその巻き物を開くことのできる者はなく、見ることのできる者もいなかった。巻き物を開くのに、見るのに、ふさわしい者がだれも見つからなかったので、私は激しく泣いていた。(黙示録5章2節-4節)

そして、もちろんイエスです。彼が巻き物を受け取った時、四つの生き物と二十四人の長老は、…これはだれでしょう。もしかしたら12弟子とイスラエルの12部族かもしれません。そして…

おのおの、立琴と、香のいっばいはいった金の鉢とを持って、小羊の前にひれ伏した。この香は聖徒たちの祈りである。彼らは、新しい歌を歌って言った。

「あなたは、巻き物を受け取って、その封印を解くのにふさわしい方です。あなたは、ほふられて、その血により、あらゆる部族、国語、民族、国民の中から、神のために人々を贖い、私たちの神のために、この人々を王国とし、祭司とされました。彼らは地上を治めるのです。」(黙示録5章8節-10節)

彼は天国にいる教会に語っているのです。私たちが地上で統治するという事実について。私たちは彼(イエス・キリスト)と一緒に戻って来て、地上で治めるのです。

私たちには、素晴らしい素晴らしい約束があります。もしあなたが信者なら、もし、あなたが贖われているなら、たしかに主はあなたのからだを贖ってください。しかしそれから、全員にその資格がない時、天の上から地の下までの創られた者のうち、だれひとりとしてその巻き物のひもを解いて、開けることのできる者がいない中で、開けることができる方。それにふさわしく、それができるのは、ただ1人。そして彼がそれをすると、すべての封印は、実際には信じない者たちに対する激しい裁きです。それと約束。——私たちが、彼と共に地球を統治する。大患難の時の聖徒は終わりによみがえって、私たちと共に統治します。しかし私たちは、そこにいて、見るのです。

人があなたのところに来て、「彼(イエス)は戻ってこない」と言う時、あらゆるあざける者やあらゆる疑う者、否定的な人たちが、あんな風な反応をするのも私は分かります。天国でさえ、大きな沈黙があります。そしてヨハネはイエスを見て、それからみんなが歌い始めるのを見る前に、激しく泣きました。ヨハネが激しく泣いたのは、そこでこれが出来る者が一人もいないことを理解したからです。そして彼は気づきます。

「巻物を開けることができる人が、一人だけいる」その方は、ほふられた神の小羊であるイエスです。彼はすでに、ほふられました。彼は、いま、ユダ族の獅子。もはや、ほふられた神の子羊ではありません。その方が巻き物を開かれます。彼は打ち勝った。彼はユダ族の獅子。彼は耐えたのです。そして、彼のよみがえ



りの力によって、終わりなき彼のいのちによって、イエスが封印を解かれます。そして彼は、私たちが、ただ彼の血によって贖われることだけではなく、彼と共に戻って来て、彼と共に統治することも承認されます。このアップデートを終えるのに、とても素晴らしい約束です。

ありがとうございます。I love you!  
イスラエルのガリラヤより、God bless you!

現在、状況が落ち着いている事を、神に感謝します。離陸ありませんし、少し静かになるでしょう。神が支配しておられます。ありがとうございます。God bless you!

どうか、私のためにお祈りください。この水曜日は、ワシントン DCでメッセージをして、それから土曜日はトロント、それから、来週です。I love you! ありがとうございます。God bless you!

いつもこのミニストリーを支え、祈ってくださり、ありがとうございます。それを無くして、私たちには何も出来ませんから、本当に感謝します。

ところで、お祈りと言えば、私は、お祈りが最も重要だと思っているので、聖書には、同じく5章でこのように告げています。これを見てください。8節です。

彼の目の前で、

**彼が巻き物を受け取ったとき、四つの生き物と二十四人の長老は、おのおの、立琴と、香のいっばいはいった金の鉢とを持って、小羊の前にひれ伏した。この香は聖徒たちの祈りである。(黙示録5章8節)**

“聖徒達の祈り”が、主に捧げる香です。そしてそれらは、素晴らしい場所にあるのです。一天国一 主の御前に。ですからどうか、みなさん、続けて祈ってください。そして、するべき事をするのです。もちろん、ビホールドイスラエルのためもありますが、同時に、みなさんの周りの祈りが必要な人達のためにも。みなさんのお祈りを頼りにしている人たちが、とてもたくさんいます。周りを見てください。語るよりも、もっと祈りましょう。タイプするより、もっと祈りましょう。攻撃するより、もっと祈りましょう。噂話をするよりも、もっと祈りましょう。

ありがとうございます。God bless you!

ガリラヤより、シャローム!

さようなら。

---

メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル  
<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2019.05.10 (Fri)

---